

I. 学校運営

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
5	5	5	5

点数/満点
20 / 20

各評価者コメント

4月に会議を設け教職員全員に目標の周知徹底をしている。中間評価を行うことで、目標達成に向け進捗状況の確認が行えている。外部にもホームページを用いて情報公開していることから透明性が感じられる。

今年度から中間評価を実施したことで、進捗状況の確認や柔軟に修正対応できたことが成果としてあらわれたと思う。

年度途中（9月）に中間報告を行うなど教職員による目標達成の進捗状況や課題を再認識できることが可能になったことが一番の成果だったと思いました。

中間評価を実施したことで、PDCAサイクルが機能し目標への取り組みが途切れることなく実施できたと考える。また、個人のモチベーションの維持にも繋がったと思われ、今後も継続されることを期待している。

II. 教育課程・教育活動

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
4	5	4	4

点数/満点
17 / 20

各評価者コメント

実習指導者と教員の連携が図れている。安全教育として実習でのオリエンテーションやカンファレンスも十分に行なわれている。スクールハラスメントの指針の作成に期待する。国家試験合格率も非常に高く、個々に対応した指導が行えている。

看護学の基本的な知識と技術を体得させるとともに、思考力や応用力、創造性を養い、教育課程の変更に伴って学習内容の修正を行うなど、基礎的能力を有する人材育成ができていると思われる。

発達障害を抱えた生徒に対し、学校としてどのようにアプローチしていけるのかが今後の課題だと思います。

教員がハラスメントに対し学ぶ機会を設けるなど、社会情勢を鑑みた活動内容であり高く評価できる。また、Z世代である学生にどう対応するか、学生主体に授業等を展開しようとする努力が感じられる。

項目Ⅲ. 入学・卒業対策

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
4	5	5	5

点数/満点
19 / 20

各評価者コメント

応募者確保対策として、オープンキャンパスや市内高校からの推薦等を積極的に進め、入学者の確保ができています。市内への就職も推進できています。質の高い看護師の育成のため病院ともさらに連携を図っていく必要がある。

今後より多くの応募者が確保のため学校の魅力を伝えきれるよう、プログラムの開発に努め、国試合格率100%となるよう、教員の方々には積極的に事業に取り組んでいただければと思います。

国家試験合格率100%は、すごく目を引くことができるので、もっと学校説明会等でアピールをしても良いのではないのでしょうか？

入学前からの学習状況の把握、1年時からの国家試験・就職を見据えた意識づけ等、個々にあった対策を教員間で共有し講義内容に活かしている点は少人数である強みである。今後も継続し、外部にもアピールして頂きたい。

項目Ⅳ. 学生生活支援

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
5	5	5	4

点数/満点
19 / 20

各評価者コメント

新型コロナウイルス感染症も5類となり、合同学習会や戴帽式、球技大会も実施でき、充実した学生生活を送れるよう積極的に支援している。

学生の身体面や精神面へのフォローが行われており、学生に寄り添ったサポートがされている。

学生に対して色々と対策をされていて、今後益々さらに多様化していくであろう状況の中で、周りの環境や時代にあわせたり、学生のニーズに合わせていくのが大変ではないかと思いました。

最終目標である国家試験の合格のため、学習環境が維持できるよう精神面・身体面、奨学金等の経済面での支援が行われている。少人数であることを活かし、個々への関りも充実しており、今後も安心した学習環境の提供を維持できることに期待する。

項目 V. 管理運営・財政

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	5	4

点数/満点
19 / 20

各評価者コメント

ハラスメント対策としてアサーティブコミュニケーション研修受講など実施でき、対応に効果を上げている。
多様性を意識し、ユニフォームの変更も実施し配慮ができています。

全体的に運営に関してみれば、学生の意見を取り入れるなどの工夫がされており、高い評価といえる。しかしながら、防犯や交通安全の分野では低い評価であれば改善の余地があると思われる。

特に問題なし

個人情報の漏洩に対する処罰が強化される中、職員が研修を受講し対策を強化している点は高く評価できる。SNSによる個人情報漏洩の恐れもあり、学生に対しても防犯・交通安全意識の向上と共に、指導を行うことが望ましいと考える。

項目 VI. 施設設備

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	5	5

点数/満点
20 / 20

各評価者コメント

実習用ベッドや実習用人形・PCなどは最新のものが十分に揃えられている。学生が自由に使える多目的ルームも多く、学年ごとのフロア分けなど、ゆとりのある環境で学習できていると言える。

学生が利用しやすい施設整備を行えている。課題も把握できており、引き続き解決に向けた努力をお願いしたい。

アンケートの結果で福利厚生施設・整備の自己評価が急上昇していることが、とても素晴らしいと思いました。

学内の実習環境やパソコンの台数等も充実しており、授業時間のみならず、放課後の自己学習等に自由に活用できるよう整備されている。DVDや図書も学生が自主的に学習を行う上でのバックアップとなっていると考え評価5とした。

項目Ⅶ. 教職員の育成

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
5	5	4	4

点数/満点
18 / 20

各評価者コメント

職員は複数回研修に参加し向上心がある。授業参観のリフレクションは効果的な活動と考えられる。今後、研究的な活動や環境づくりにつなげることができると思われる。

新カリキュラムには対応できており、研究も行われていた。更なる充実した環境を整備することに期待する。

教職員の育成は、どの分野においても喫緊の課題であり、これからの時代を担う人材を育成して行かなければならないと思いますが、手を変え品を変えながら取り合えず、何でもやってみるといふ姿勢が大事なのではないかと思います。

Z世代・多様性を理解する研修を積極的に行い、教職員が生徒と真摯に向き合おうという姿勢が感じられる。今後教職員の質を維持するためにも、研究授業・臨床看護研修に参加できる支援体制を整備できるよう検討して頂きたい。

項目Ⅷ. 広報・地域貢献・社会貢献

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
5	5	4	4

点数/満点
18 / 20

各評価者コメント

ホームページのタイムリーな更新は広報活動として適切と思われる。また、地域活動への参加も増え学生の精神的な成長にも効果的と思われる。

ソーシャルメディアを活用した広報活動は時代ならではの感じるが、そのものを知ってもらう必要があるのではと思います。また地域活動や社会貢献では、コロナも5類へ移行となり、活動が再開されたことは喜ばしいことです。

HPの新しいレイアウトと積極的な広報活動に今後期待したいと思います。

時代のニーズに合わせ、学校紹介にYouTubeを活用したことは高く評価できる。学生確保のためにも、SNSを利用した広報活動等、高校生が目にしやすい形での新たな情報発信方法で学校の強みをアピールできることに期待する。